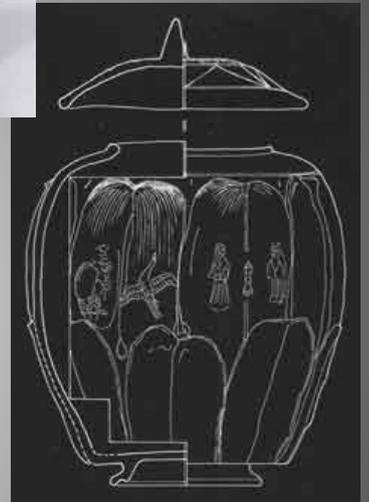


東アジアの仏教遺物

会期 2008年11月10日(月)～12月12日(金)



仏像と埋納遺物の 世界

- 講演会 第19回 禅文化歴史博物館セミナー
11月21日(金) 16:30～18:00

「東アジアの仏教遺物」

本学仏教学部講師 村松哲文 先生

定員 50名(申込先着順。電話、FAX等、または博物館受付でお申し込みください。)

- 会場：2階企画展示室(入館無料)

- 開館時間：10:00～16:30

- 休館日：土・日・祝日

- 後援：世田谷区教育委員会

- 同時開催：常設展示室「禅の世界」

駒澤大学図書館所蔵十六羅漢図～禅月様 VS 李龍眠様～
大学史展示室「江戸時代の旗檀林」

駒澤大学禅文化歴史博物館

The Museum of Zen Culture and History, Komazawa University

〒154-8525
東京都世田谷区
駒沢 1-23-1

TEL (03) 3418-9610

FAX (03) 3418-9611



<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/zenbunka/>

東アジアの仏教遺物

当館ではこれまで仏教系大学の博物館として、仏教、禅文化を語る資料を広く収集してきました。その中で広く仏教の歴史をたどり、人々の祈りの形を具体的に語りかけてくれる仏像や埋納遺物などの資料の収集にも努めてきました。

此度の展示では前々回の古瓦、前回の陶磁器に続く考古資料展シリーズの第3回目として、館蔵の仏教遺物を一堂に展示し、紹介致します。

●主な展示資料



青銅三尊仏板／(出土地不明)／北魏時代

全体は錆で覆われるが、図像は中心に如来像、左右に脇侍菩薩が配され、上方に如来の天蓋を支える飛天、左の脇侍菩薩の下には文殊菩薩、そして右の脇侍菩薩の下には維摩居士、如来像の下には、礼拝する化生童子を配している。

仏像



木彫彩色観音菩薩像／(出土地不明)／宋時代

頭に宝冠を載き、天衣(てんね)、条帛(じょうはく)、裳をまとい、耳飾・胸飾・瓔珞(ようらく)・腕釧(わんせん)など様々な装身具をつける。



埋納遺物

銅製経筒／(出土地不明・伝 丹後地方一括資料)／平安時代

写経を入れる銅製の経容器と外側の土師製の外容器、共伴の土師皿、鏡、銅銭6枚(2枚は付着した状態)の組み合わせである。同じ場所から出土した資料と伝えられる。

表

【左】釈迦牟尼仏・二菩薩／(出土地不明)／明時代 中国・チベット地方の土製の仏像

【右】仰蓮弁文陶罐(ぎょうれんべんもんとうかん)／(伝雲南省出土)／元～明時代前半

伝・中国雲南省火葬墓出土。身の外面には仏教の意匠である2段の蓮弁を交互に8枚連ね、上段の蓮弁には、鳥、供養人、宝珠を伴う獣を貼り付けている。